

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



歩行者の交通事故発生状況

令和3年中

1 歩行者事故の発生状況

令和3年中の歩行者が死傷した交通事故は、前年と比較して、重傷者数は増加しましたが、発生件数、負傷者数は減少し、死亡事故は13件13人（-2件-2人）となりました。

【歩行者事故の発生状況】

(令和3年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	513	13	13	154	359	513
前年	549	15	15	145	408	553
増減	数	-36	-2	9	-49	-40
減	率	-6.6	-13.3	6.2	-12.0	-7.2

【歩行者の交通死亡事故発生状況】

(令和3年中)

No.	発成年月日等							発生場所	路線	第1当事者		事故類型	死者 高齢者
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候			高齢者	車種		
1	3	1	25	16	月	昼	晴	栗原市若柳	駐車場	-	普乗	その他	◎
2	3	2	10	20	水	夜	晴	多賀城市鶴ヶ谷	国道	-	軽貨	横断中	◎
3	3	2	19	16	金	昼	曇	栗原市若柳	県道	-	普貨	横断中	◎
4	3	3	10	18	水	夜	晴	柴田町西船迫	町道	-	軽乗	横断中	-
5	3	4	5	16	月	昼	曇	若林区遠見塚	県道	-	普乗	横断中	◎
6	3	5	13	10	木	昼	晴	名取市飯野坂	県道	◎	軽貨	横断中	◎
7	3	7	9	23	金	夜	雨	宮城野区岩切	県道	-	軽乗	その他	◎
8	3	8	17	19	火	夜	雨	青葉区中央	国道	-	軽貨	横断中	◎
9	3	11	5	5	金	夜	晴	角田市角田	市道	◎	軽貨	捜査中	◎
10	3	11	14	19	日	夜	晴	山元町山寺	町道	-	普乗	その他	-
11	3	11	15	7	月	昼	曇	七ヶ浜町菖蒲田浜	県道	-	軽乗	横断中	◎
12	3	11	16	14	火	昼	晴	塩釜市東玉川町	県道	-	中貨	横断中	◎
13	3	12	23	5	木	夜	晴	柴田町本船迫	町道	-	普乗	横断中	◎

2 歩行者事故の発生推移 (基礎データ平成24年～令和3年)

歩行者事故の発生件数は、平成24年以降は緩やかな減少傾向にあり、死者数は増減を繰り返している状況ですが、どちらも令和3年中は10年間で最小の数値となりました。

また、全人身交通事故が10年間で58.8%減少(平成24年10,409件→令和3年4,286、-6,123人)しているのに対し、歩行者事故は50.0%の減少(平成24年1,026件→令和3年513件、-513件)にとどまっています。

【歩行者事故の推移】



区分	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
発生件数	1,026	939	920	916	888	836	820	692	549	513
死者数	31	20	29	25	26	20	15	19	15	13
うち高齢者	12	15	19	13	12	13	9	10	9	11
負傷者	1,020	945	908	913	889	832	832	693	553	513

3 過去10年間の歩行中死者の月別発生状況

(平成24年～令和3年)

歩行中の交通事故死者数を月別に見ると、2月、11月及び12月が特に多く、11月から2月にかけて多発する傾向が見られます。

昼夜別では、冬季には夜間の事故が多発しており、秋から冬にかけては夕暮れ時の事故も多くなりました。

【昼・夜・夕暮れ時の月別歩行中死者数】



※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

4 歩行者事故の発生特徴等 (基礎データ令和3年中)

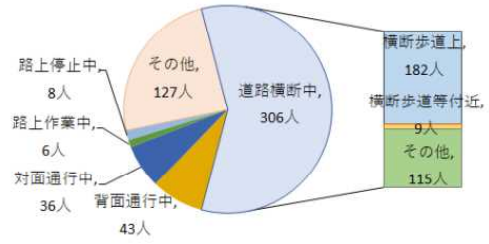
(1) 道路横断中の事故が半数以上

死傷者の半数以上 (526人中306人、58.2%) が道路横断中の事故です。

内訳は、横断歩道上が182人と最も多く、横断歩道や歩道橋付近が9人、その他横断が115人となりました。

横断中に直進車両 (原付以上、後退時以外) と衝突した事故は、歩行者側から見て左から来た車両との衝突が多く、特に夜間は、左からの車両と衝突して死亡又は重傷を負うケースが多いため、横断後半には左側に注意を払うことが、被害防止のために重要です。

【歩行者の状態別死傷者】



【横断中事故の車両(直進)の進行方向】

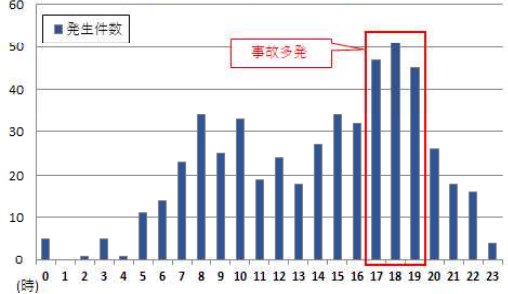
負傷の程度	右からの車両		左からの車両	
	昼	夜	昼	夜
死亡	1		2	4
重傷	14	6	9	15
軽傷	12	7	14	15
総計	27	13	25	34

(2) 夕方の発生が多い

発生時間別では、夕方17時台~19時台の時間帯に多発 (513件中143件、27.9%) しました。

昼夜別では、4割以上 (231件、45.0%) が夜間に発生しており、全事故における夜間の割合 (4,286件中1,149件、26.8%) を18.2ポイント上回りました。

【時間別歩行者事故発生状況】



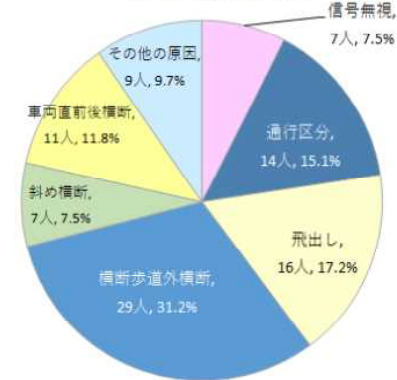
(3) 歩行中死傷者の2割近くに原因あり

歩行中死傷者の2割近く (526人中93人、17.7%) には何らかの原因が認められ、特に横断歩道外横断 (29人) が多くなりました。

原因が認められた歩行中死傷者の44.1% (93人中41人) は重傷以上の負傷となりました。

一方、原因がなかった歩行中死傷者では、重傷以上の負傷が29.1% (433人中126人) で、原因が認められた歩行者を15.0ポイント下回りました。

【歩行者側の原因】



(4) 交差点での発生が多い

道路形状別では、交差点での発生が513件中255件 (49.7%) と半数近くを占めました。

また、直線道路 (131件、25.5%) が交差点に次いで多く、次いで駐車場等 (91件、17.7%) が多くなりました。

(5) 学職別では高齢者が多い

死傷者の年齢別・学職別では、65歳以上の高齢者が多く、死傷者の3割近く (526人中151人、28.7%) を占めました。

【年齢・学職別歩行者の死傷者】



※学職別は主なものの抜粋

区分	計	年齢別										学職別				
		~14	15~19	20~24	25~29	30代	40代	50代	60代	70代	80~	未就学児	小学生	中学生	高校生	高齢者
死傷者数	526	58	25	35	36	53	64	68	59	79	49	7	41	14	13	151
死者数	13		1					1	1	1	9				1	11
負傷者数	513	58	24	35	36	53	64	67	58	78	40	7	41	14	12	140